

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	日本エフディ株式会社							
代表者名	氏名	金森真一	役職名	代表取締役社長				
主たる事務所の所在地	〒399-8205 長野県安曇野市豊科2095-1							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	09 食料品製造業						
主たる事業の概要	凍結乾燥食品の製造販売							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	1622	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	2	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

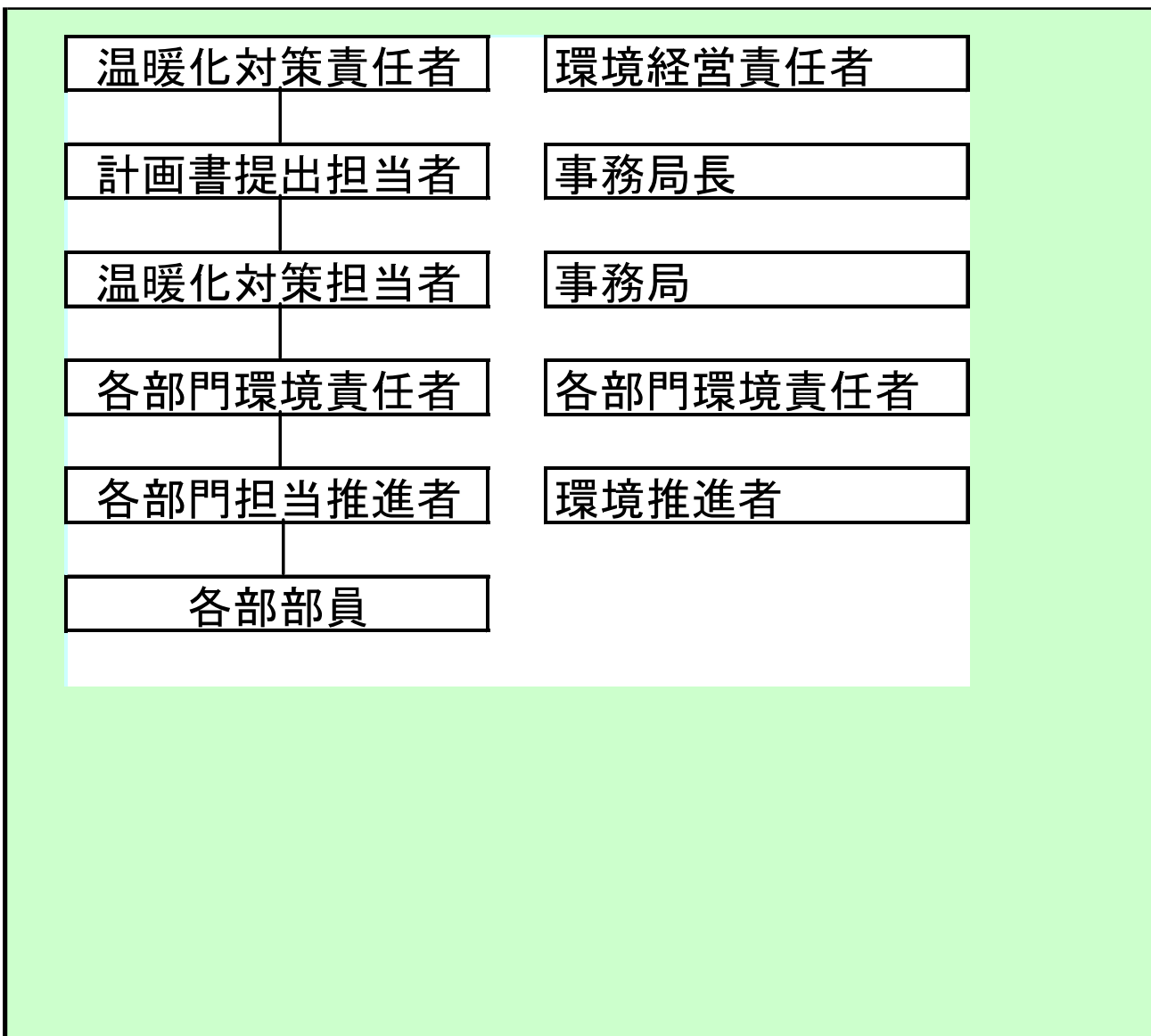
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	http://www.nihonfd.co.jp
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

全従業員参加で、エコアクション21組織での活動を推し進め、目標達成に取り組む。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	3,485	t-CO ₂	生産量	881.00	単位	t	
25年度	調整後排出量	2,872	t-CO ₂	基準原単位	3.96	t-CO ₂ /	t	
目標年度	目標排出量	3,380	t-CO ₂	目標原単位	3.84	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.03	%		
目標設定に関する説明	エコアクション21の活動を通して、CO2排出量及び生産量起算原単位の毎年1%削減、3年間で3%以上削減の目標を達成する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,666	t-CO ₂	生産量	896.00	単位	t	
	調整後排出量	3,648	t-CO ₂	原単位	4.09	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
26年度	削減率	(5.20)	%	削減率	(3.29)	%		
排出量等の増減理由	H26年度乾燥機稼働数は、受注増により前年比110%の増加となった。それに伴い乾燥品製造量は、前年比101.7%増加した。稼働増はエネルギー使用量増に直結し、廃棄物や食品廃棄物の削減実績は上がったが、合計排出量は増加の結果となった。							
第二年度	排出量	3,574	t-CO ₂	生産量	839.00	単位	t	
	調整後排出量	3,561	t-CO ₂	原単位	4.26	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
27年度	削減率	(2.56)	%	削減率	(7.58)	%		
排出量等の増減理由	平成27年度の凍結乾燥機稼働数(釜)は1,299釜で、基準年度平成25年度(1,164釜)比111.5%の実績となり、基準年度比乾燥機稼働増となった。生産数量は839tで、平成25年度(881t)比95.2%に減少した。乾燥機稼働1回当りの生産数量は、平成25年度0.757t/釜から平成27年度0.646t/釜となり85.3%に減少した。乾燥機稼働増によるエネルギー使用量の増加と、多品種少量の受注傾向による稼働当り生産量の減少で、排出量原単位とも基準年度比増加となった。							
第三年度	排出量	3,655	t-CO ₂	生産量	710.44	単位	t	
	調整後排出量	3,637	t-CO ₂	原単位	5.14	t-CO ₂ /	t	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	削減率	(4.88)	%	削減率	(29.80)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	平成28年度の凍結乾燥機稼働数(釜)は1,246釜で、基準年度平成25年度(1,164釜)比107.0%の実績となり、基準年度比乾燥機稼働増となった。生産数量は710tで、平成25年度(881t)比80.5%に減少した。乾燥機稼働1回当りの生産数量は、平成25年度0.757t/釜から平成28年度0.570t/釜となり75.3%に減少した。受注内容の変化により、稼働釜当りの生産量は減少し脱水量は増加した事により、排出量原単位とも基準年度比増加となった。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	2	t-CO ₂			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	50	%
26年度						
排出量等の増減理由	社有車1台を、ハイブリッド車に更新した。					
第二年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	50	%
27年度						
排出量等の増減理由	前年と比較し、特に変更なし。					
第三年度	排出量	1	t-CO ₂	削減率	50	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	前年と比較し、特に変更なし。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320205 ボイラの負荷管理及び効率管理	26	27	27	1
2	エネ起	350604 負荷率の管理	26	15	27	3
3	エネ起	370702 電動機の運転管理	26	1	27	22
4	エネ起	380752 LEDの導入	26	1		
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	613		18	13	18
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,485	1	3,666	1	3,574	1	3,655
1,500k1未満								
合計	1	3,485	1	3,666	1	3,574	1	3,655

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車		1		
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他				1
合計	0	1	0	1
自動車総数	2	2	2	2
次世代車導入割合		50		50

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	実績なし
その他	実績なし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	近くにJRの駅はあるが、JR利用可能者以外でバス等の公共交通手段が無く、マイカー通勤従業員が全体の95%程度を占める。
公共交通機関の利用促進	会社業務出張の移動については、JR使用を標準としている。
来客者の交通対策	JR使用での来場を勧めている。
物流の合理化	工場重点課題として、物流費目標を立て月次進捗確認している。

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	エコアクション21	2007.1.9
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・使用水（井水）の使用量削減。 ・廃棄物の削減。 ・グリーン購入の推進。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・用水使用量の削減。 ・廃棄物、食品廃棄物排出量の削減。 ・グリーン品購入の促進。
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・用水使用量の削減。 ・廃棄物、食品廃棄物排出量の削減。 ・グリーン品購入の促進。
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・用水使用量の削減。 ・廃棄物、食品廃棄物排出量の削減。 ・グリーン品購入の促進。

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・食肉製品前処理加工外注化による、食品廃棄物の削減。 ・屋根散水による、エアコン使用電力量の削減。 	21 1.5
その他	なし	